

令和6年度第4回小金井市青少年問題協議会専門委員会

日時 令和7年2月26日(水) 午前10時～午前10時40分
場所 本町暫定庁舎第一会議室
出席委員 6人
委員長 浅野 正道 委員
委員 橋本 洽祐 委員 黒須 よし江 委員 浦野 知美 委員
山本 雄一 委員 木村 安里 委員
欠席委員 4人
委員 金井 誠 委員(副委員長)
兵頭 友幸 委員 加辺 博之 委員 平井 正博 委員

事務局 児童青少年課長 平岡 美佐
児童青少年係長 鈴木 拓也

傍聴者 0人

1 開会

平岡課長

本日はお忙しい中御出席いただき、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、令和6年度第4回小金井市青少年問題協議会専門委員会を始めさせていただきます。

開会に先立ちまして、事務局から何点が御案内させていただきます。

本日の委員会につきましては、兵藤委員、加辺委員、平井委員から事前に欠席の連絡をいただいております。

なお、金井委員がいらっしゃっていませんが、現時点で会議充足数を上回っておりますので、定刻となりましたので、先に進行をさせていただきます。

浅野委員長

金井先生今週お休みされるという連絡が昨日、グループメールで回ってきていました。金井委員、欠席でお願いします。

平岡課長

大変失礼いたしました。欠席ということで、承知いたしました。

本委員会につきましては、会議録作成のため録音をさせていただいておりますので、発言の際にはお名前をおっしゃっていただいてから御発言いただきますようお願い申し上げます。

それでは、議題に入りたいと思いますので、ここからは委員長に進行をお願いいたします。

2 議題

浅野委員長

それでは、ただいまから令和6年度第4回小金井市青少年問題協議会専門委員会を開会いたします。

早速、次第にのっとり議題に入ってまいります。

まず議題(1)ですけれども、今期テーマに関する周知用リーフレットの内容についてを議題とします。

初めに、事務局から説明をお願いいたします。

鈴木係長

本日の専門委員会におきましては、前回の専門委員会で皆様からいただいた意見を基に、事務局にて作成した今期のテーマに関する啓発リーフレットの案の内容について、皆様に御審議いただきたいと思っております。

事務局作成のたたき台に関して修正や追記などをしたほうがよい点などについて、皆様から御意見をいただきまして、3月26日に開催する本体会議へ報告する原案を完成させたいと考えております。

初めに、事務局から作成に当たってのポイントについて御説明させていただきます。

資料1を御覧ください。今回のリーフレットについては、A3サイズの全4ページ構成で作成いたしました。表紙となる1ページと中開ききの左側になる2ページには、この間実施したアンケートに関する情報及び啓発内容につながるアンケートの結果を抜粋して掲載いたしました。中開きの右側になる3ページには、子どもに向けた啓発内容を掲載し、裏表紙となる4ページには、保護者に向けた啓発内容を掲載した構成としております。

次に、前回の専門委員会において啓発すべき内容として委員の皆様から大きく2

点、意見が上げられたところですが、その扱いについてです。

1点目は、そもそもSNSの利用に関して、年齢制限があるという点について御意見がございました。こちらは、裏表紙4ページ目の保護者向けの啓発内容として上げさせていただいております。左側の真ん中の四角の囲みのところにSNSの規約についての記載をしました。

意見の2点目といたしましては、利用に関してルールを決めていたとしても、必ずしも守られてないという意見がございました。こちら裏表紙の4ページの保護者向けの啓発内容に、ルールに関するアンケートの結果を掲載し、子どもの成長に合わせてルールをつくる必要があるという記載をいたしました。また、保護者アンケートに関して、中学生保護者の回答率が低いことについて意見がございましたので、こちら注釈を記載しております。

また、金井委員より追加意見として、SNSに関する指導は学校でも都度行っているが、アンケートの結果を見ると指導が十分に行き届いているとは言えないので、今後もあらゆる場面での継続した啓発等が必要であるという点と、最近の選挙などでもSNSを活用した運動の影響力が注目されており、情報の真偽を見極め、取捨選択する能力が必要であると感じているという意見がございました。

こちらの意見について、継続的な啓発という点については、中開きの左側に関連するアンケートの結果を掲載し、実態を把握してもらうようにいたしました。

また、情報を取捨選択する能力という点につきましては、中開き右側に囲みで、その趣旨を伝えるメッセージを掲載しております。右下の丸囲みの部分が該当のところになります。

以上が作成に当たって事務局において考慮した内容になります。

事務局からの説明は以上になります。

浅野委員長

ありがとうございます。本日は、事務局から説明がありましたとおり、啓発リーフレット案について検討を行って、本体会議へ報告する原案を専門委員会として完成させるということになります。

既にリーフレット案は皆様のお手元に届いていると思いますので、既に御覧いただいていることと思います。この案に対して、どこからでも結構ですので、お気づきの点や、あるいは、ちょっとこれは分かりにくい、あるいは追加したほうが良いということがあれば、本日も御意見いただきたいと思います。

どなたからでも結構ですので、御意見、御質問があればお出してください。よろしく願いいたします。

黒須委員。

黒須委員

これは回答してくれた親と子どもにも見てもらいたいということになっているんですよ。

過去は、このようなサイズで来ていたんですけど、今回A3サイズに変更したのは何か意図があって、そうされているんですか。

鈴木係長

A3サイズにした理由についてですけれども、お子さんも見るというところがございましたので、過去のは字が小さくなり過ぎていたと事務局では感じております。その関係から、文字サイズを大きくするためには、紙のサイズも大きくしな

ければならないというところが、今回、サイズを大きくしたという理由になります。

黒須委員

分かりました。そうしたら、もう少し子どもが見たいと思うイラストとかを入れたらどうでしょうか。

鈴木係長

御意見ありがとうございます。イラストとかデザインに関しましては、あくまでこれは事務局で作成した案になります。内容が確定しましたらデザイン等は印刷業者さんにレイアウト等を手伝っていただくことを予定しておりますので、その辺りで工夫をしたいと思います。

浅野委員長

ありがとうございます。確かに、黒須委員がお示しいただいた、これまでのリーフレットを私も全部持っていますけども、文字が小さいというのはありますが、非常にパッと目を引くようなデザインではあるんですね。ですから、そういうところはまた業者の方と検討しながら工夫していただければということですね。

そのほかございますか。浦野委員、お願いします。

浦野委員

今、イラストの件が出たので関係としてお話しさせていただきたいんですけど、最後の面の「保護者のみなさまへ」というところですけど、ここに出ている棒グラフについて誰に関してのアンケートだったのかがちょっと分かりづらいのかなど。読み込めば分かるんですけども、ペアレンタルコントロール、設定していますかというのは、これは子どもに対してのアンケートですね。

鈴木係長

裏表紙の「保護者のみなさまへ」に掲載しているグラフに関しては、保護者向けのアンケート結果を掲載しております。

浦野委員

では、そういったイラスト、保護者の顔のイラストをちょっと載せていただけると、これは保護者に対してのアンケートの結果なんだなというのが分かると思いますので、そこも検討していただければと思います。

鈴木係長

承知しました。ありがとうございます。

浅野委員長

おっしゃるとおりで、パッと見て考えてしまうところありますよね。分かりやすい工夫をまた御検討いただければと思います。ありがとうございます。

そのほかいかがでしょうか。橋本委員。

橋本委員

細かいところで、各項目のSNS前の丸は、「O」とちょっと混同するなど。二重丸にするとか。

浅野委員長

これは事務局、いかがですか。丸が多いと「OSNS」という感じがありますね。

鈴木係長

ありがとうございます。記載方法を変更したいと思います。

橋本委員

もう一ついいですか。3ページ目ですが、「トラブルや困ったことが起きたらすぐに保護者などに相談しよう！」とあるんですけど、保護者ともう一つ何かここに入ればいいんじゃないかなど。子どもたちは、保護者が大事ですけど、担任の先生とか、カウンセラーとか、もう一つ入れるといいんじゃないかと思います。

黒須委員

一番後ろのページに書いてある、一番下の「困った時の相談窓口」というのは、これは子どもも直接、子どもからでも受け付けてくれるところですか。

鈴木係長

こちらは子どもでも大人でもどちらでも受付ができる窓口となっております。

浅野委員長

ごめんなさい。橋本委員のところは学校の先生になるんですね。

橋本委員

もう一個、保護者に加えて相談しやすいところを入れたほうが親切かなと思いました。

浅野委員長 そこも御検討いただければと思います。
 そのほかいかがでしょうか。木村委員、お願いします。

木村委員 今の点ですけど、ここを見ていて、「困った時の相談窓口」を見てみたら、割と子ども向けでいいなと思ったんですけど、3ページ目に記載があればいいのかなと思いました。子どもだと、「保護者のみなさまへ」のところは読まないんじゃないかと。

浅野委員長 なるほど。そのレイアウトも検討していただければというところですね。ありがとうございます。
 そのほかいかがでしょうか。

浦野委員 全体的に、子どもが読んでも分かりやすい文章になって、工夫されているのかなと思うんですけど、浅野先生にお聞きしたいんですけど、3ページ目の「知らない人とのやりとりはひかえよう」の文章の中に、「おやみにやりとりしないように」と、「おやみに」という表現が出ていますけども、これは小学校5年生ぐらいだったら十分理解できますか。これは小学校1年生から配るんですか。

鈴木係長 配布の対象はまだ決めていないんですけども、そこは本体会議でも諮らうと考えているんですが、実態を考えると、小学校低学年の子はSNSを自分で使うということはあまり多くはないと感じているところなので、事務局としては、子どもは小学校4年生以上への配布を考えております。

浦野委員 そうすると、「おやみに」という言葉の意味は、4年生ぐらいだったら理解できると。

浅野委員長 一概には言えないですけど、分かる子ももちろんいるでしょうし、分かりにくい子もいるでしょうね。そういう危惧があるのであれば、もう少し平易な言葉で言ったほうがいいんでしょうかね。簡単にやり取りしないようにしようとか。

浦野委員 御検討いただければと思います。

浅野委員長 山本委員。

山本委員 これはすごくいい調査結果だと思うし、これを実際、御家庭で配布されて、目を通したときに、文章まで読んでいただけるかどうか。ただ配って終わりという感じになってしまうと思うんです。何かその辺の工夫はありますか。

浅野委員長 事務局、いかがでしょうか。

鈴木係長 山本委員がおっしゃるとおりで、過去に作成してきたリーフレットについても、配って終わりというところは正直あったのかなと思います。この間、市役所でも公式LINEを導入し、新しい広報媒体のツールも整ってきていますので、紙媒体だけでなく、そういったSNSも活用しながら、1回だけではなく、定期的な発信ですね。1年に1回とか、半年に1回とか、ホームページにももちろんこのリーフレットを載せますので、そこにリンクで飛ぶような方法も検討していきたいと考えております。

山本委員 ありがとうございます。

浅野委員長 前回も申し上げましたが、小中学校ではセーフティー教室をやるんですよ。そこで、こういったSNS利用の危険性などを子どもたちに教えていただいているんです。本校も先日の道徳授業公開講座、1時間、時間を使って、6年生に、専門家

の方から御指導いただいたんですけど、そういうときに合わせて配るというのも手ですよね。そういうイベント等に合わせてやると、それを見ながら説明もできるでしょうけど、日常的に配ると、パッと見て、どこかにしまっちゃうという可能性は高いと思います。年1回はどこの学校もやっていますので、それに合わせてということも御検討いただければと思いますね。

そのほかいかがでしょうか。

橋本委員

先ほど相談のことと関係あるんですけども、「困った時の相談窓口」、これは都のほうの設置云々と書いてありますけれども、小金井もせっかく、子どもオンブズパーソンを設置したので、PRとしてどこかに載せられると。

浅野委員長

そうですね。おっしゃるとおりで、子どもオンブズパーソンは小金井市としても力を入れているところだと思いますので、追記をした方がよろしいかと思います。

そのほかいかがでしょうか。黒須委員、お願いします。

黒須委員

最後の、総務省の「上手にネットと付き合おう!」、これはすごくいいような気がするのですが、ここをもうちょっと大きく、ここを見るといいよみたいな感じでできたらいいかなと思ったのと、あと3ページ目の「夢中になりすぎないようにしよう」という、それは分かっているけど、やっちゃうみたいな、何かそういうところを、大人目線じゃなくて、こういうふうにするといいよみたいな感じで子どもたちに訴えるような記載にならないかなと思ったんですけど。

浅野委員長

何かいい代替案ありますか。

黒須委員

左側のページのアンケートで、一番下の枠の中に、勉強に集中できなかつたりとか、睡眠不足になつたりという、それはちゃんと結果として出ているわけだし、そういう子がいるという、その辺をうまくここで表現できたらいいかなと思いますが。

平岡課長

例えば、使う時間と場所を決めてみようとか、自分でこういうルールをつくれればいいかなと自発的に思えるような言葉もあってもいいのかなと思ったので、様々なほかの媒体とかも見ながら、参考になる言葉を探してみたいと思います。ありがとうございます。

浅野委員長

ありがとうございます。そのほかはいかがですか。

では、私から気づいたところで、聞きたいんですけども、2ページ目の2つのグラフにそれぞれ、右側に吹き出して説明が書いてありますよね。一番上の「SNSの利用について不安や心配なことはありますか?」に、「小学校5年生は65.7%、中学校2年生は74.8%が何かしらの不安や心配なことがあると回答しています」という数字が示されているんですが、左のグラフを見たときに、この65.7、74.8というのが出てこないんですよ。つまり、個々の不安や心配の具体的な例は出ているんですが、それを総括したところの65.7、74.8というのは分からないかなというのと、その次の、「どのようなことに気をつけなければいけないと思いますか?」、これも「小学校5年生は21.6%、中学校2年生は17.3%が未回答」ですけど、左のグラフではこの数字が出てこないですよ。3つ目の、「次のようなことが起きたことがありますか?」では、右下の見出し、「中学生では、45%以上の人勉強に集中できなかった」というのは、隣のグラフを見ると、中学校は45.5%と書いてあるので分かるんですが、その辺はいかがでし

ようか。事務局、お願いします。

鈴木係長

おっしゃるとおり、左側のグラフにない数字を事務局で独自に集計したものをコメントの中で記載しております。浅野委員長がおっしゃるとおり、この数字がグラフ上から読み取りにくい部分はあったのかなと事務局としても思いますので、別にグラフの掲載や、文章の中で何の数字が説明する表記に修正をしたいと考えております。

浅野委員長

ありがとうございます。御検討いただければと思います。

橋本委員

根拠になったパーセントのところにするしか何かをすればいいんでしょうか。

鈴木係長

まず、左側2ページ目の一番上のアンケート項目については、複数回答ができる項目でしたので、事務局で一つでも該当するとチェックをした方を独自に集計したという形になります。

2番目の「どのようなことに気をつけなければいけないと思いますか」という設問に関しては、自由記述で回答いただいた設問になりますので、それを事務局で項目別に集計した数値をグラフ化したものがここに掲載されています。

今、橋本委員がおっしゃられた根拠の数字というのが、このグラフ上、どちらも出てこないの、別でグラフを掲載するほうが分かりやすいのかなと、今御意見をいただいて思いましたので、そのような方向で修正していきたいと思っております。

浅野委員長

ありがとうございます。御検討いただければと思います。

そのほかいかがでしょうか。

黒須委員

すみません。配布したアンケートの最後、問17に、「お子さんがSNS以外に家族や友達と過ごして、楽しいと感じるときはどんなときですか。把握していることはありますか」という質問をつけてもらったんですけど、これの結果は何もなかったんですか。

鈴木係長

アンケートの結果としてはもちろんあるんですが、前回の専門委員会で、どういうポイントで周知をしていくべきかというところで出た意見にフォーカスを当てたものを今回掲載させていただきました。アンケートの結果ももちろん、保護者さんとお子さんには把握してもらいたいと事務局としては考えておりました、リーフレットの表紙からアンケートの集計結果を掲載したホームページにリンクする二次元コードを掲載して、そちらから御覧いただく形を事務局としては考えています。全部のアンケート結果を載せるスペースというのがどうしても限られてしまう部分があったので、そういった手法で、事務局としては進めていきたいと考えております。

黒須委員

なぜこの質問を載せてもらったかという、おとしだったと思うんですけど、NHKの番組で、子どもたちに夏休み、SNSを使っているかみたいなことをやっていて、結構1日使っちゃうみたいなそういうのがあって、子どもたちに、「じゃあ、どうしたら、それを使わないで済むと思う？」と質問をしたら、お父さんとかお母さんが遊んでくればいいのかというようなことを言っていたんですね。そういうふうに大人が構ってくれば、SNS漬けにならないという、そういう道があったんだということをその番組で私は思ったので、そういうことを親に訴えるようなそういうコメントもあっていいかなと思いました。

たちはすごく食いついて話を聞いたり、質問をしたりしていました。

そのほかいかがでしょうか。

私もそうですけど、恐らく皆様も、まずパッと見て、気づかれたところ、御指摘しやすいところの御意見を出していただいたと思いますけれども、もう一度お持ち帰りいただいて、特に、データではカラー版を送っていただいていますから、そうすると印象も違って、これは見やすいけど、この色はもうちょっとこうしたほうがいいのかというものもあるかもしれませんので、併せてもう一度御覧いただいて、何か追加の御意見、御質問等あれば、事務局にお教えいただきたいというところでよろしいでしょうか。

それでは、本日の検討結果と併せて、今後、欠席の方も含めて御意見、追加等ありましたら、それを鑑みて、本体会議へ報告するリーフレットの修正作業を事務局で進めていただくこととなりますが、この点について事務局から何か補足等はございますか。

鈴木係長

先ほどお示しさせていただいたとおり、本日いただいた意見を基に、事務局で再度リーフレットの修正、追記作業をさせていただきます。その案ができましたら、改めて皆様に確認の意味でお送りをさせていただきます。追加の意見がございましたら、事務局までお寄せければと思います。その後、本体会議への報告案をこちらでまとめますけれども、まとめに関しましては、専門委員長の確認をもって確定とさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

浅野委員長

ありがとうございます。それでは、事務局に今御説明いただいたとおり進めていくということで、皆様よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり。)

ありがとうございます。では、そのように進めていただくことと決定いたします。以上で、議題1、リーフレットの内容についての検討は終了いたします。

次に、議題2、その他といたしまして、事務局から何かあればお願いいたします。

鈴木係長

次回の日程について御説明をさせていただきます。

先ほどもお示しさせていただきましたが、今回は本体会議の開催となりまして、既に御通知もさせていただいているところではございますが、3月26日水曜日、午前10時から開催させていただく形になります。資料等は追って送付をさせていただく形になりますので、お忙しいところ恐縮ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

浅野委員長

では、次回、本体会議への御出席、皆さん、よろしくお願いいたします。

委員の皆様からほかに何か御発言はございますか。よろしいでしょうか。

では、短時間ではございましたが、皆様から多くの御意見いただきましたので、それを基に検討を進めていければと思います。

以上をもちまして令和6年度第4回小金井市青少年問題協議会専門委員会を閉会といたします。本日はありがとうございました。